

2025年度「地域の文化 継承活動助成事業」 助成先一覧(申込順)

地域	助成先	推薦者	連携する個人・団体	事業名	対象となる子どもたち	子どもたち(児童・生徒)に継承したい文化、活動の内容・目的など	助成金使途
長野市	長野市立戸隠小学校		とがくしっこ応援団 戸隠を知る会 戸隠地質化石博物館 (一社)戸隠観光協会 環境省戸隠自然保護官事務所	戸隠のひと・もの・こと・場 の継承 (戸隠大根販売・クロスカントリーによる自然体験)	4年生(12名) 6年生(15名)	・「戸隠のひと・もの・こと・場」を広め、実感を通して地域の文化継承をする ・4年生…戸隠大根販売に合わせ、戸隠の文化を子供たちの目線で広め戸隠の良さを継承する ・6年生…児童の琴線に触れる戸隠の自然の雄大さを体験(クロスカントリー・スノーハイク)	材料費
南木曽町	南木曽町立南木曽小学校		南木曽ろくろ工芸協同組合 田立和紙保存振興会 ウッディークリエイटनाギソ	ろくろ細工・田立和紙・檜のカンナくずを利用した造花づくり	3年生(23名) 5年生(19名) 6年生(60名)	・文化を体験することを通し、ふるさとをより広く深く理解しながら地域愛や社会性を学ぶ ・「手引き」による国の伝統的工芸品「ろくろ細工」学習体験 ・町の選定保存技術「田立和紙」(紙漉き)…卒業証書づくり ・「檜のカンナくずで創る造花」…次年度新入生へのプレゼント	材料費 講師等謝金
小谷村	小谷村立小谷小学校		おたり塩の道の会 信州小谷太鼓 小谷民謡保存会	塩の道遠足・おやき・しめ縄・小谷甚句・小谷太鼓	全校児童(98名)	・地域を知り、魅力を創造、継承する場を持つことで、地域文化伝承の意識を育む	講師等謝金
軽井沢町	学校法人軽井沢風越学園		妙順寺住職(古屋野順友)	太鼓文化(御諏訪太鼓ほか)	全校児童・生徒(小1～中3)の希望者	・長野県に伝わる諏訪太鼓の文化を学ぶことで、地域の伝統や歴史への関心を高める ・地域の和太鼓指導者や、保存会などとの継続的なつながりを通じて将来的には軽井沢の太鼓編成チームを児童・生徒主体で編成することも構想 ・子どもたち自身が、企画・構成・演奏までを担う「文化の担い手」として育ていく為の支援体制を、学校内外で整える	備品(太鼓備品)購入
伊那市	伊那市立高遠小学校		桜奏会 高遠囃子保存会婦人部	高遠囃子 (太鼓・三味線・大皮・横笛・鼓)	3年生～6年生の希望者 (45名程度)	・高遠囃子の継承と次世代の担い手の育成 ・毎週2回、高遠囃子保存会、桜奏会の方々からの手ほどきを受けながら練習し、高遠城下まつり、燈籠まつりなどに出演	講師等謝金 備品(三味線など)購入
長野市	緑ヶ丘小学校 子ども神楽教室	長野市立 緑ヶ丘小学校		地域に伝わる獅子舞と神楽囃子	4年生～6年生の希望者 (12名程度)	・子どもたちに、地域の歴史や人々の心を映す大切な文化財である伝統芸能の魅力を伝え、体験させることで、次世代につながる命のリレーとする ・各地区の神楽囃子の楽器演奏や、獅子舞の振付を教える時間を定期開催し、子どもたちが演者として祭りに参加できる機会をつくる	備品(篠笛)購入
中野市	中野市立平野小学校		(一社)日本朗読検定協会(今井理恵子) ピアニストの兵隊さん(古畑博子) 十三崖地下壕保存と中野の戦争を語り継ぐ会(涌井純生) 徳永泰男	「戦争」を経て「平和」を築き上げてきた先人の思いを継ぐ (平和学習・社会見学)	6年生(83名)	・先人たちの平和を願う必死な努力の積み重ねのおかげで、今の平和な世の中があることを知る ・「ピアニストの兵隊さん」読書・朗読、著者の話を聞く ・十三崖地下壕のジオラマを見学、保存会の方の話を聞いたり、青少年義勇軍として満州に渡った方からの手紙を読み解くなど平和学習を通して自分の意見をまとめ発信する	講師等謝金 印刷製本費
上田市	上田市立東塩田小学校		コゲラの里工房(徳武忠造) 尾澤木彫美術館 上田市立美術館	農民美術、山本鼎	6年1組(30名)	・上田市の伝統工芸である農民美術を知り、農民美術を始めた山本鼎についての見識を高める ・農民美術のもとである「こっぱ人形」の制作を通し、自由に感じたものを作るという山本鼎が求めた精神を大切にし「こっぱ人形」の良さを感じる	講師等謝金 材料費
飯田市	飯田市立龍江小学校		今田人形の館 今田人形座座長(澤柳太門) 今田人形保存会会長(鳴海和彦)	今田人形	4年生～6年生の希望者	・伊那谷で最も古くからある人形座で今田人形は始まった。衰退の危機を乗り越え人々がつないできた、この地区に残る伝統芸能、国の選択無形民俗文化財の今田人形を子ども達に継承してほしい ・実際に人形を操ることを通して、その歴史を知り、発表に向けて練習を楽しみながら伝承していく経験をする	講師等謝金
諏訪市	諏訪市立諏訪南中学校		南中カリンの会	カリン(マルメロ)の栽培と活用	2年生(161名)	・諏訪市の市木「カリン(マルメロ)」を校内で栽培(39本)・収穫して活用することで、魅力を実感し、自分たちで継承したり、地域へ発信する ・栽培、試作、製作、試食を経て、地域の方への販売頒布や地元企業へ製品化、商品化の提案をする(ジャム・アロマオイル)	講師等謝金 備品購入